Creative Enzymes®

[ヘパラン硫酸]-グルコサミン 3-硫酸転移酵素 1

Cat. No. EXWM-3382

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は、抗トロンビン結合部位の前□体に□して最も選□的であることから、他の[ヘパラン硫酸]-グルコサミン3-硫酸転移酵素[EC 2.8.2.29（[ヘパラン硫酸]-グルコサミン3-硫酸転移酵素2）およびEC 2.8.2.30（[ヘパラン硫酸]-グルコサミン3-硫酸転移酵素3）]とは異なります。最小受容体配列は次の通りです: → GlcNAc6S→ GlcA→ GlcN2S*+/-6S→ IdoA2S→ GlcN2S→、アスタリスクはターゲットを示し（記号は2-Carb-38と同□）、+/-は置換基の有無を意味し、>は主要な構造と副次的な構造を区別します。したがって、Glc(N2S > NAc)は、Nが主に硫酸基を持ち、時折アセチル基を持つグルコサミンの残基を意味します。ヘパラン硫酸内の他の前□体配列も修飾できますが、この作用は機能的な抗トロンビン結合部位を生成しません。これらの前□体はコンセンサス配列の□種です: → Glc(N2S > NAc)+/-6S→ GlcA→ GlcN2S*+/-6S→ GlcA > IdoA+/-2S→ Glc(N2S/NAc)+/-6S→。ヘパラン硫酸基質がGlcA残基の2-O-硫酸化を欠いている場合、酵素の特異性はIdoAの前にある選□されたグルコサミン残基およびGlcAを修飾するように□張されます。
別名	ヘパリン-グルコサミン 3-O-硫酸転移酵素; 3'-ホスホアデニル酸-硫酸:ヘパリン-グルコサミン 3-O-硫酸転移酵素; グルコサミニル 3-O-硫酸転移酵素; ヘパラン硫酸 D-グルコサミニル 3-O-硫酸転移酵素; アイソフォーム/アイソザイム 1 (3-OST-1, HS3ST1)

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.8.2.23
CAS登□番号	183257-54-7
反□	3'-ホスホアデニル硫酸 + [ヘパラン硫酸]-グルコサミン = アデノシン 3',5'-ビスリン酸 + [ヘパラン硫酸]-グルコサミン 3-硫酸
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。